

日 時：令和4年8月31日（水曜日）

午後6時30分から午後8時30分まで

東京都ソーシャルスキルトレーニング支援 在り方検討会（第一回）

■次 第

1 開 会

2 議 事

(議題 1) 本検討会の概要

(議題 2) 実態把握調査の結果について

(議題 3) SSTの目的及び効果

(議題 4) 本人及び保護者の理解

3 閉 会

■配布資料

資料 1 東京都ソーシャルスキルトレーニング支援在り方検討会設置要綱

資料 2 東京都ソーシャルスキルトレーニング支援在り方検討会委員名簿

資料 3 東京都ソーシャルスキルトレーニング支援在り方検討会事務局説明資料

資料 4 委員事前意見一覧

議題 1

本検討会の概要

1 SSTに係る現状と課題

①調査から分かった課題

令和3年度に実施した、「障害児支援事業所等におけるソーシャルスキルトレーニング実態把握調査」(※調査概要等は後述)において、次のような課題が見られた。

- 現在SSTを実施していない事業所等は、正しい方法が分からず実施ができていないことや、実施している事業所でも、専門家等に相談する機会がなく自事業所内のノウハウや情報で行っている状況にある。
- 学識経験者等へのヒアリングにおいても、「『単にこの教材をやるだけ』などと単純化されており、本来の目的や個々の利用者に合わせたトレーニングができていない可能性が高い」等の意見があった。

②放課後等デイサービスの現状

放課後等デイサービスの事業所数が増加（10年で5倍近くの増）。専門性のない事業所の参入もあり、不適切な支援も散見される。

【参考】放課後等デイサービスの事業所数

H25	R4
220	1,062

「社会福祉施設等一覧」より各年度5月1日の状況

【不適切な支援の例】

- ・職員から利用児に対する不適切な言動
- ・テレビを見せているだけ、ゲーム等を渡して遊ばせているだけの対応
など

2 東京都ソーシャルスキルトレーニング支援在り方検討会の概要について

■ 目的

- ・前述の調査及び事業所等の実態を踏まえ、ソーシャルスキルトレーニングの実践に当たり必要な事項の考え方等を整理すること。
- ・本検討会で検討した内容を踏まえ、モデル事業の実施やガイドラインの作成につなげていく

■ 本検討会で想定する支援対象

学齢期で、通常学級又は特別支援学級に在籍している、知的障害又は発達障害のある児

■ 時期及び検討内容

年度内に3回実施し、主に下記の事項について検討を行う

時期 (予定)	第1回 (今回)	第2回 (12月～1月)	第3回 (3月下旬頃)
検討内容 (案)	<ul style="list-style-type: none">・SSTの目的と効果・本人及び保護者の理解	<ul style="list-style-type: none">・アセスメントの重要性と方法・効果検証・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none">・その他検討が必要な事項

※検討内容等は変更の可能性があります

議題 2

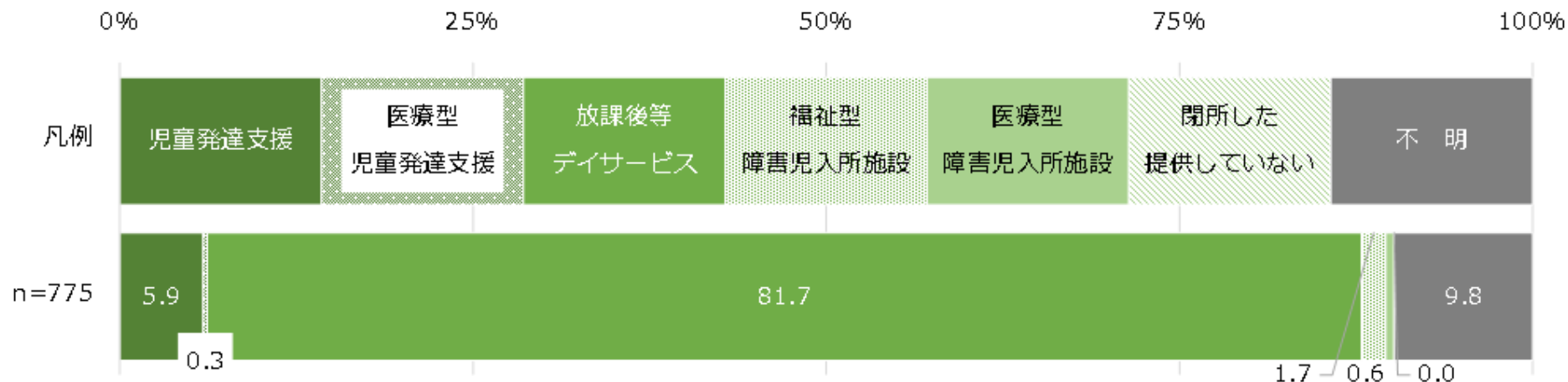
実態把握調査の結果について

1 調査実施概要

項目	内容
調査対象	都内に所在している障害児支援事業所等
調査方法	質問紙を郵送配布し、回答を郵送回収
実施期間	令和3年10月8日（金曜日）から同月31日（日曜日）まで
配布数	1,068件
回収数	775件
回収率	72.6%

＜回答事業所の内訳＞

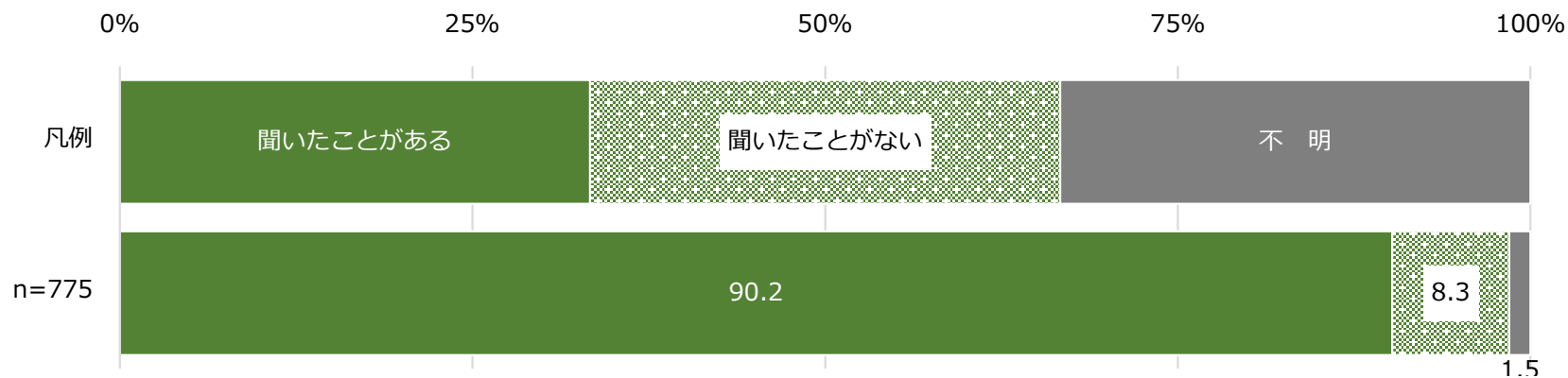
児童発達支援センター	46
医療型児童発達支援センター	2
放課後等デイサービス	633
福祉型障害児入所施設	13
医療型障害児入所施設	5
不明	76
計	775



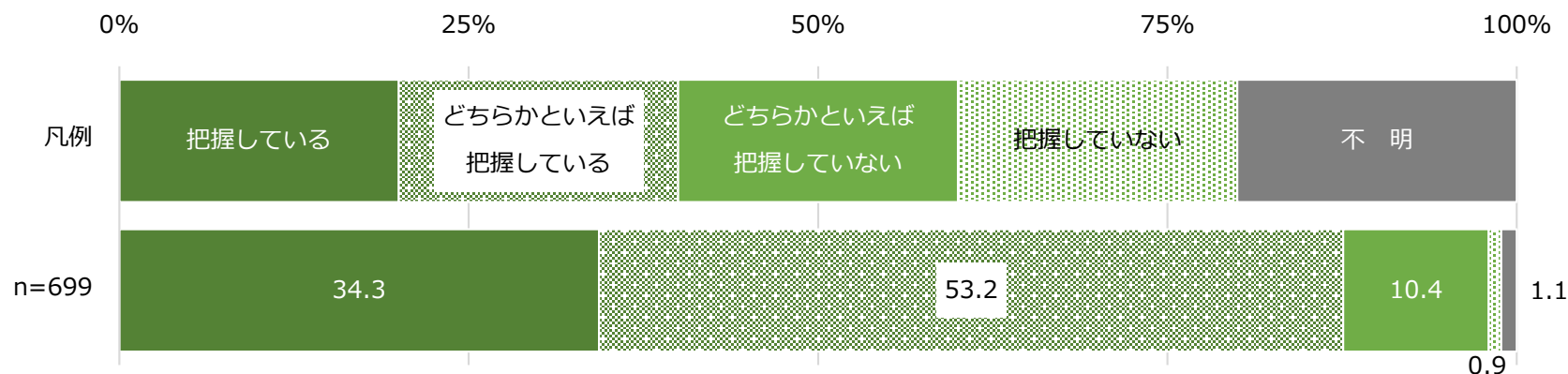
2 SSTの認知度

- ✓ SSTを「聞いたことがある」と回答した事業所は90.2%となっており、大半を占めている。
- ✓ また、聞いたことがある事業所のうち、SSTの具体的な内容についての把握状況は、「把握している」が34.3%、「どちらかといえば把握している」が53.2%となっており、内容についても大半が把握していると回答している。

【SSTを聞いたことがあるか】



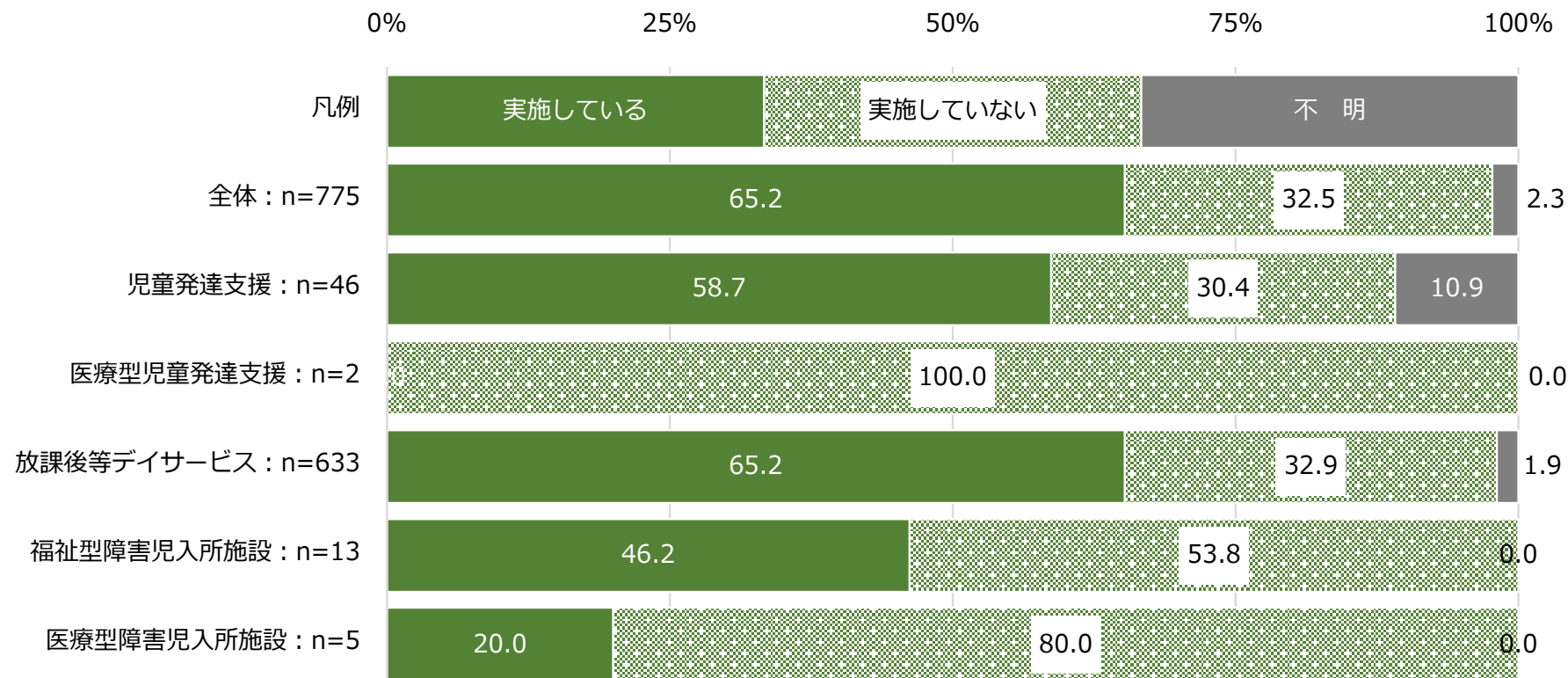
【SSTの具体的な内容の把握状況】



3 SSTの実施状況

- ✓ SSTを「実施している」と回答した事業所は全体で65.2%と半数以上となっている。
- ✓ 事業区分別でみると、SSTを「実施している」と回答した割合は、放課後等デイサービスで65.2%、児童発達支援で58.7%となっており、入所施設では半数を下回っている。

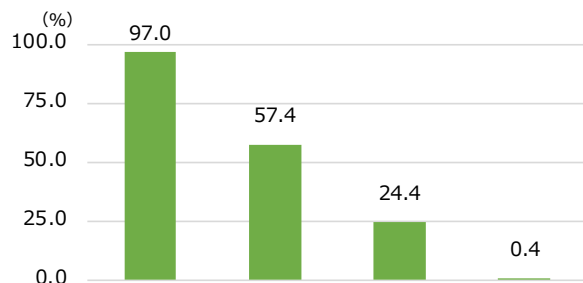
【SSTの実施状況（事業区分別）】



4 SSTの実施内容

- ✓ SSTの実施内容は、「対人関係」が97.0%とほぼ全ての実施事業所で行われており、「金銭管理・買い物」は57.4%となっている。
- ✓ 事業区分別で見ると、「対人関係」は全ての区分で実施率が高い一方で、「金銭管理・買い物」は児童発達支援では14.8%となっている。

【SSTの実施内容（事業区分別）】



事業区分	調査数	実施内容 (%)			
		対人関係	金銭管理・買い物	その他	不明
児童発達支援	27	100.0	14.8	29.6	0.0
医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	413	97.1	60.3	23.2	0.2
福祉型障害児入所施設	6	83.3	66.7	33.3	0.0
医療型障害児入所施設	1	100.0	100.0	0.0	0.0

※複数回答可

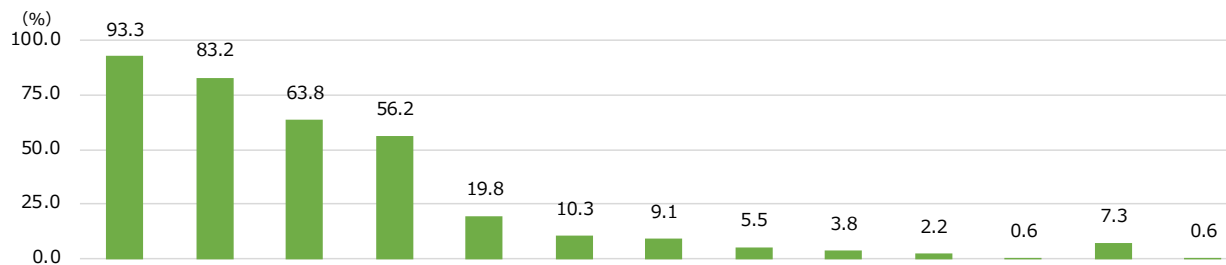
【その他】の実施例

身だしなみに関すること	身辺整理、トイレの使い方
学習に関すること	読み・書き
移動に関すること	交通機関の利用の仕方
就労に関すること	ビジネスマナー、調理、工作、面接時の対応
その他の生活スキル	スマートフォンでの連絡の仕方（電話のかけ方）、避難訓練、時間管理、声の大きさ
情緒に関すること	自己肯定感、気持ちのコントロール、アンガーマネジメント

5 SSTを実施している職員・資格

- ✓ SSTを実施している職員・資格は児童指導員が全体の93.3%と最も多かった。
- ✓ その他と回答した職は、社会福祉士や教員免許所持者（教員OB等）などの回答が見られた。

【SSTを実施している職員の職種・資格（事業区分別）】



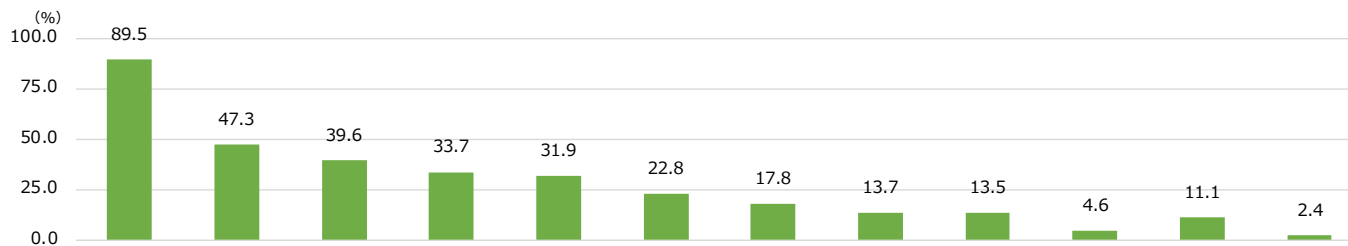
事業区分	調査数	児童指導員	児童発達支援管理責任者	保育士	施設管理者	心理士	作業療法士	言語聴覚士	理学療法士	看護師	相談員	医師	その他	不明	
		全体	505	93.3	83.2	63.8	56.2	19.8	10.3	9.1	5.5	3.8	2.2	0.6	7.3
事業区分	児童発達支援	27	92.6	63.0	85.2	25.9	40.7	33.3	11.1	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	放課後等デイサービス	413	93.7	86.2	61.3	57.9	17.4	8.0	6.8	4.8	3.6	1.9	0.7	7.5	0.5
	福祉型障害児入所施設	6	66.7	33.3	66.7	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※複数回答可

6 SSTの実施に当たって参考になっている情報

- ✓ SSTの実施に当たって参考になっている情報は、「自事業所での経験やノウハウ」が89.5%と最も高く、次いで「法人内の他の事業所の事例」「教育・保育施設の情報」「利用者の保護者の情報」「他の法人の事例」となっている。
- ✓ 一方で、「国や都の情報」や「大学等の研究者の論文や情報」「医療関係者の情報」といった公的機関の情報は活用の割合は低くなっている。

【SSTの参考情報（事業区分別）】



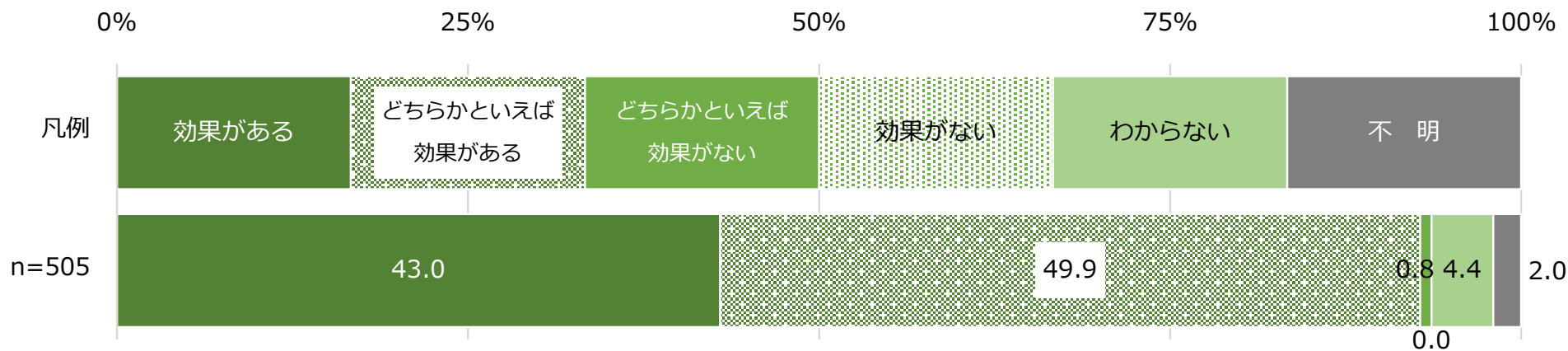
事業区分	調査数	参考情報の種類												
		自事業所での経験やノウハウ	法人内の他の事業所の事例	教育・保育施設の情報	利用者の保護者の情報	他の法人の事例	大学等の研究者の論文や情報	国や都の情報	医療関係者の情報	障害者団体等の情報	役所・役場の情報	その他	不明	
児童発達支援	27	85.2	29.6	40.7	18.5	14.8	44.4	14.8	22.2	11.1	7.4	14.8	3.7	
医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
放課後等デイサービス	413	89.8	49.4	37.8	35.1	32.0	18.4	16.2	12.6	14.8	4.6	10.9	2.2	
福祉型障害児入所施設	6	83.3	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	
医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※複数回答可

7 SSTの効果

- ✓ SSTの効果については、実施している事業所のうち、「効果がある」と回答した割合は43.0%となっており、「どちらかといえば効果がある」と合計すると9割以上となっている。

【SSTの効果】



8 SSTの実施に当たっての課題

- ✓ SSTの実施に当たって課題となっていることは、全体では「専門家等に相談する機会がない」が34.7%と最も高く、次いで「プログラムの内容やパターンが少ない」が29.7%となっている。
- ✓ SSTを実施している事業所の課題も、全体と同様に「専門家等に相談する機会がない」「プログラムの内容やパターンが少ない」が上位となっている。
- ✓ 一方で、SSTを実施していない事業所では、「SSTの正しい方法がわからない」が最も高く、50.4%となっている。

【SSTの実施に当たっての課題（SST実施状況別）】

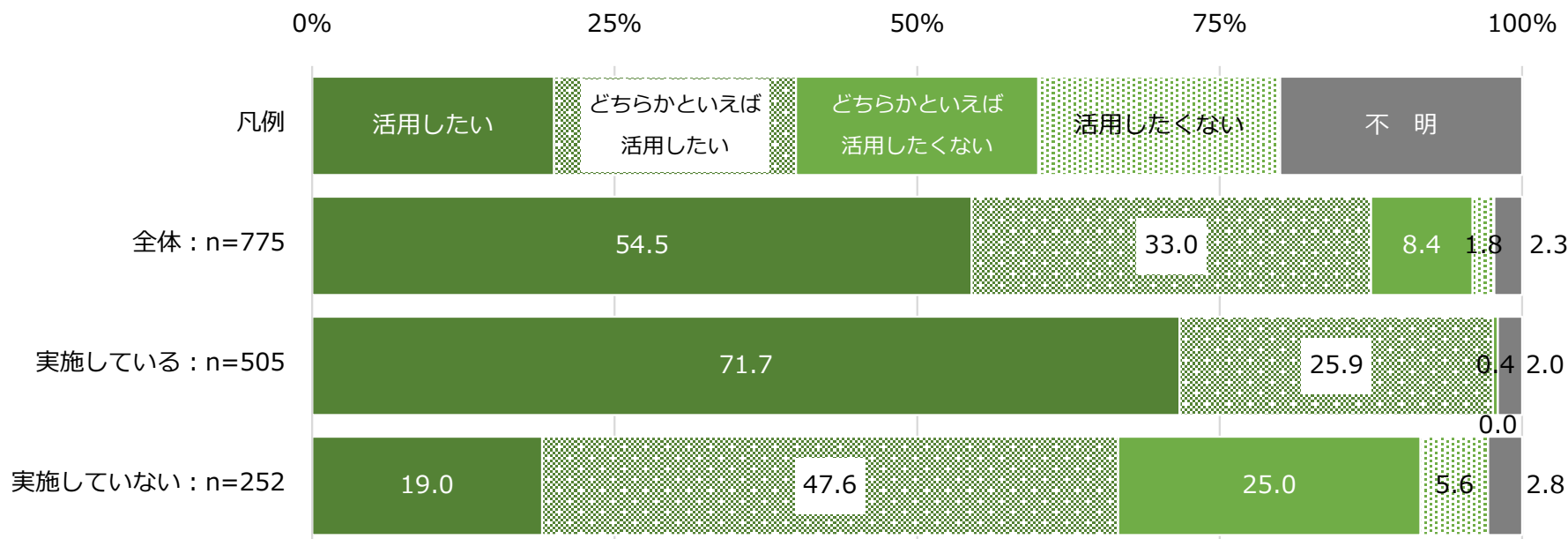


※複数回答可

9 SSTの活用意向

- ✓ SSTの今後の活用について、全体では「活用したい」が54.5%となっており、「どちらかといえば活用したい」と合計すると、87.5%が『活用したい』となっている。
- ✓ SSTの実施状況別で見ると、既に実施している事業所では、97.6%が『活用したい』としており、実施していない事業所でも66.6%が『活用したい』となっている。

【SSTの今後の活用意向（SST実施状況別）】

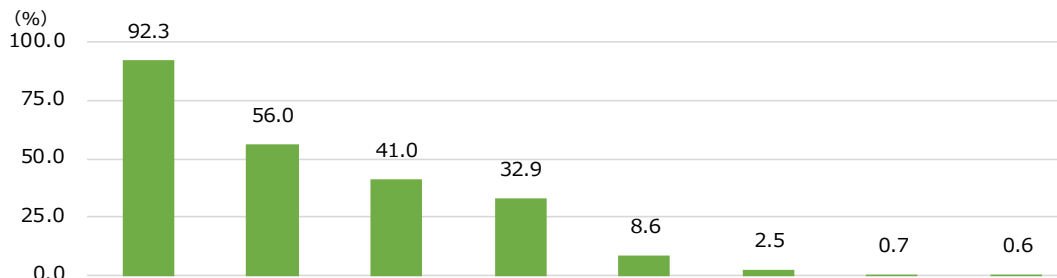


10 SSTを活用したい理由

※「SSTを今後活用したい」又は「どちらかといえば活用したい」と回答した事業所等による回答

- ✓ SSTを今後活用したい理由について、「障害児の自立・成長に向けて必要な取組だと思ふ」が92.3%と最も多く、次いで「事業所の職員が普段の指導やケアを振り返るきっかけになる」が56.0%となっている。

【SSTを今後の活用したい理由（事業区分別）】



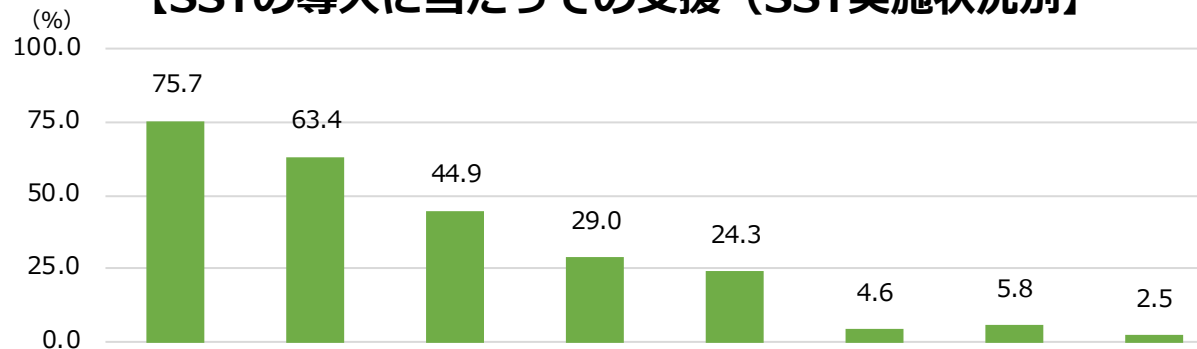
事業区分	調査数	理由										
		取組に害のないよう必要・成長	振り返るきっかけを普	事業所の職員が普段	利用者の側から要等	既存の事業所での実施が難しい	関係者間の連携が難しい	その他	特に理由はない	不明		
全体	678	92.3	56.0	41.0	32.9	8.6	2.5	0.7	0.6			
事業区分	児童発達支援	37	94.6	51.4	48.6	35.1	10.8	10.8	0.0	0.0		
	医療型児童発達支援	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	放課後等デイサービス	558	91.9	55.9	40.9	32.8	7.0	1.8	0.9	0.7		
	福祉型障害児入所施設	11	100.0	72.7	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0		
	医療型障害児入所施設	3	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

※複数回答可

1 1 SSTの導入に必要な支援

- ✓ SSTを導入するために必要な支援について、「事業所職員を対象にした研修会などによる技術指導」が75.7%と最も高く、次いで「取組内容に関する事業者へのわかりやすい情報提供」が63.4%となっている。

【SSTの導入に当たっての支援（SST実施状況別）】



		調査数	に よ る 技 術 指 導 な ど 象	事 業 所 職 員 を 対 象	取 組 内 容 に 関 連 す る	の 係 療 育 関 係 の 方 と の 共 有	教 育 機 関 ・ 保 育 の 利 用 等	大 学 や 病 院 な ど の 相 談	の 理 解 促 進	新 た な 取 組 に 関 連 す る	そ の 他	特 に な し	不 明
全	体	775	75.7	63.4	44.9	29.0	24.3	4.6	5.8	2.5			
実 施 状 況	実施している	505	78.8	63.2	50.9	31.5	24.8	5.5	3.6	1.6			
	実施していない	252	70.2	65.1	32.9	25.0	24.2	3.2	10.7	3.6			

※複数回答可

1 2 調査結果のまとめ

- ◆「S S Tの具体的な内容を把握している」、「S S Tを実施している」と回答した事業所は大半を占めている。
- ◆ S S Tの活用意向についても、大半の事業所が「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」と回答している。その背景にはS S Tの効果を、「障害児の自立・成長に向けて必要な取組」や「支援・ケアを振り返る機会となる」と捉えている事業所が多いことに加え、保護者からのS S T実施の要望もある。
- ◆ 一方で、実施に当たっての課題として、専門家への相談機会が少ない、プログラムの内容やパターンが少ないという声が多く、S S T導入に必要な支援として、専門家からの技術指導やS S Tに係る情報提供を挙げた事業所が多かった。